

## 鶴川図書館再編に向けた取組状況について

町田市立図書館では、将来にわたり町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、鶴川図書館再編の検討を進めております。鶴川図書館再編に向けたこれまでの取組や方向性の案について、検討状況を報告します。

### 1 これまでの取組状況

#### (1) 2018年5月 ワークショップ「鶴川地域図書館のこれから」

参加人数：計30人

#### (2) 2019年2月、3月 市民向け学習会「町田市の図書館をデザインしよう！」

参加人数：計34人

#### (3) 2021年2月、3月 ワークショップ「鶴川図書館再編後の姿を考える」

参加人数：計43人

#### (4) 地域団体などへの説明・意見交換の実施状況

地元の町内会・自治会や地区協議会役員会、鶴川図書館利用者、読書普及活動をしている団体や個人、小学校などを訪問し、鶴川図書館の再編について、説明と意見交換を行っています。

・実施期間：2020年7月1日（水）～ 継続中

・実績：延べ79回、343人（95団体）（2022年11月30日時点）

### 2 2022年度の取組

#### (1) 運営計画策定及び運営団体結成支援業務委託

「町田市5ヵ年計画22-26」の重点事業に位置付けられたことから、市民協働型の運営に向けた運営計画の策定や運営団体の立ち上げ支援にかかる業務委託を実施して、以下の取組を含め運営団体設立に向けた準備会の立ち上げを行います。

・委託事業者：株式会社HITOTOWA

#### (2) 第1回地域のアイデア実現イベント「わくわく発見！鶴川団地の図書館に行ってみよう」

2021年2月・3月に実施したワークショップで出されたアイデアを一部トライアル実施するイベントを開催しました。

・実施日時：2022年10月30日（日）10:00～14:00

・参加人数：延べ301人

#### (3) 市民協働型運営に向けた地域への説明（別紙1）

これまでの取組でいただいた意見を踏まえて、市民協働型運営に向けた方向性の案について、2022年10月から地域の方々に説明をしています。

### 3 今後のスケジュール

2023年1月 第2回イベント

2023年2月 市民協働型運営に関する地域説明会

2023年3月 第3回イベント

運営団体設立に向けた準備会の立ち上げ

## 鶴川図書館の再編に伴う市民協働型の運営について

公共施設再編後の鶴川図書館の姿について、再編を通じて公共空間としての新たな価値をつくるため、2019年度から地域との対話を進めてまいりました。

また、2020年2月、3月に実施したワークショップ「鶴川図書館再編後の姿を考える」では、多くの提案をいただきました。

これまでみなさまからいただいたご意見を踏まえ、市としての方向性をまとめましたので報告します。

### 1 現状と課題

#### <現状>

- ・来館者数や貸出冊数の減少
- ・スペースが狭く居心地が良くない
- ・コミュニティが形成されているというご意見
- ・UR都市機構による団地の建替計画
- ☛機能転換の機会がある

#### <課題>

- ・地域に必要な図書機能への再編
- ・コミュニティ機能の継続と強化
- ・多様化する地域ニーズへの対応力強化

#### <課題解決策>

鶴川図書館が地域のハブとなり、豊富な地域資源と結びつくことで、現在の取組の拡充や抱える課題の改善に繋がるのではないかと

市民協働型運営の実現

### 2 市民協働型の運営後の姿

#### (1) コンセプト

- ・地域の地域による地域のための公共空間
- ・幅広い世代に欠かせない“本”を通じて人・まち・文化のハブとなる図書コミュニティ施設



(仮キャッチフレーズ)

- ①『地域のやってみたい、をカタチにする団地のタマリバ、市民図書室つるだん』愛称つるたま
- ②一本を通じて人・まち・文化をつなぐー「暮らしに寄り添う図書施設 つるかわライズ」



#### (2) 主な機能



地域が運営する  
図書コミュニティ施設



- ・興味深く、魅力的な本に出会える
- ・誰もが無料で借りられる
- ・目的や用事がなくても気軽に過ごせる
- ・地域のニーズに沿った蔵書の提供
- ・本を通じて、世代や地域を超えた多様な人と出会いつながることができる

- ・利用者やスタッフとの会話を生み出す
- ・多世代が交流できるきっかけの提供
- ・地域活動へのコーディネート
- ・まちの情報発信
- ・居心地の良い空間がある

- ・運営に参画する団体数等の増加
- ・地域住民の活躍の機会がある(雇用や活動、発表の機会など)
- ・自分の楽しみを探せる
- ・まちへの愛着がわく
- ・まちが好きになる

### 3 これからの方向性（案）

- ・鶴川図書館を民設民営の地域施設へ転換（2026年度を目途）
- ・公立図書館では実現できなかった物販や飲食など、商店街隣接の利点を最大限活かす
- ・地域が管理できる蔵書規模の図書機能と地域活動につなげるコミュニティ機能を提供
- ・町田市が運営費を補助（ボランティアベースではなくある程度の報酬が受けられることを想定）
- ・地域が設立する団体が運営することで、地域住民の活躍の機会を創出（雇用や活動、発表の機会など）

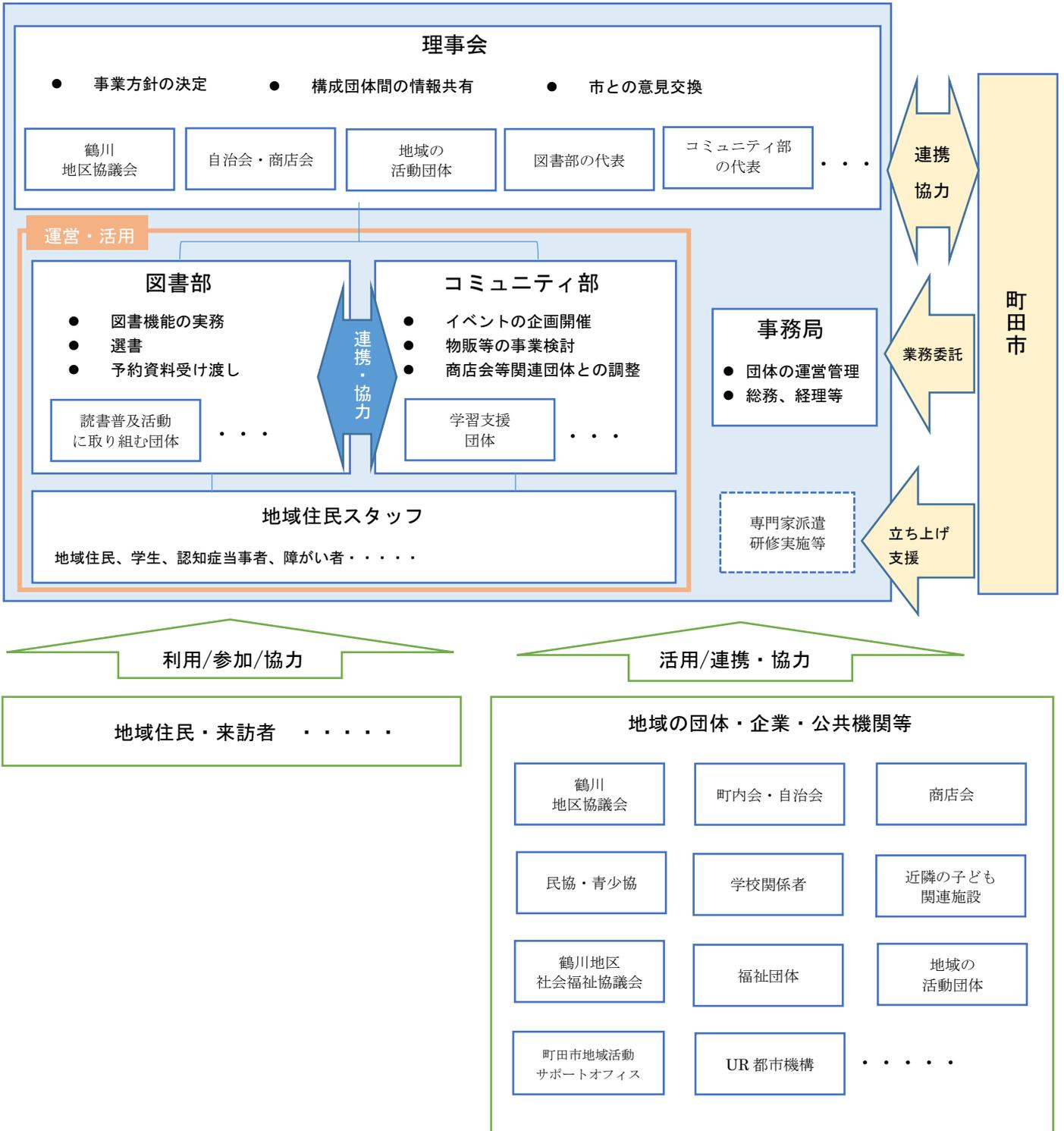
### 4 市民協働型の運営に伴う現在との機能比較

|                    | 現在  | 市民協働型の運営後  | 拡充or集約                      |
|--------------------|---|--|-----------------------------|
| 図書機能               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の蔵書。幅広いジャンルを揃えている。</li> <li>・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館から取り寄せが可能。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域がほしい資料を自分たちで選んで揃える。</li> <li>・市立図書館の蔵書は置かない。ただし、予約した資料の受け渡しや団体貸出を利用して一定期間置くことは可能。</li> <li>・国会図書館や都立図書館、他自治体の図書館からの取り寄せは鶴川駅前図書館で実施。</li> </ul>       | <p>拡充</p> <p>鶴川駅前図書館へ集約</p> |
| 図書相談機能             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書案内、読書相談の実施。</li> <li>・利用者の調査・研究の支援（レファレンス）を実施。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民や地域団体からのそれぞれのおすすめ本を紹介でき、多様な読書案内が可能。</li> <li>・レファレンスは鶴川駅前図書館で提供可能。</li> <li>・読書相談であれば人材を確保の上提供可能。</li> </ul>   | <p>拡充</p> <p>鶴川駅前図書館へ集約</p> |
| 居場所機能              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内に数席の閲覧席がある。</li> <li>・会話は控え、静かに過ごす場所。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりある座席や居心地の良い空間を提供。</li> <li>・カフェ程度の会話ができる。</li> <li>・利用者同士やスタッフとの何気ない会話が生まれる。</li> </ul>   | <p>拡充</p>                   |
| 地域情報紹介<br>地域イベント開催 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報はレファレンスによって提供している。</li> <li>・イベントは直営でのみ実施。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に合った地域の取組が何かを一緒に考えてくれる。</li> <li>・地域住民を地域の取組やイベントにつなげるコーディネートを実施。</li> <li>・地域団体主催のイベントを中心に実施。</li> <li>・ICTなどを活用した情報発信により、情報にアクセスしやすくなる。</li> </ul> | <p>拡充</p>                   |
| 飲食・物販              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓋つきの飲み物は可能。食事は不可。</li> <li>・物販はしていない。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食可能。イベントによっては、商店街の品物を使って昼食・夕食会を実施。</li> <li>・住民がつくった手作りを販売。物販フリーボックスを配置</li> </ul>  | <p>拡充</p>                   |
| 地域の<br>運営への参加      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会ボランティアなど限られた範囲で参加。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた枠組みの中での参加ではなく、主体的にやってみたいことを提案し、仲間と一緒に実現できる。</li> <li>・全体運営の中で、地域の声に合わせた柔軟な取り組みを試行できる。</li> </ul>   | <p>拡充</p>                   |

### 5 スケジュール（URによるセンター街区建替え説明会が2022年度に実施された場合を想定）

| 年度      | 2022      | 2023 | 2024                  | 2025 | 2026                  | 2027 | 2028 | 2029 | 2030 | 2031 | 2032 | 2033 |
|---------|-----------|------|-----------------------|------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|
| 施設位置    | 現在地       | 現在地  | 現在地                   | 現在地  | 現在地                   | 現在地  | 仮設   | 仮設   | 仮設   | 仮設   | 仮設   | 新施設  |
| 運営形態    | 直営        |      | 直営<br>一部業務委託          |      | 自主運営（町田市が運営費を補助）      |      |      |      |      |      |      |      |
| 蔵書規模    | 約49,000冊  |      | 規模の縮小<br>(時期は検討状況による) |      | 地域が管理できる規模の蔵書数        |      |      |      |      |      |      |      |
| 施設の位置づけ | 図書館法上の図書館 |      |                       |      | 地域施設（民設民営の図書コミュニティ施設） |      |      |      |      |      |      |      |

## 6 【参考】開始時の運営イメージ



# ■現状と課題の詳細

## 地域からの意見

### <図書機能>

- ・最低限、図書館システムへの接続と司書の常駐はしてほしい。
- ・図書館法上の図書館で他館から本を取寄せられるようにしてほしい。
- ・千冊を超える選書は専門知識がないと困難。  
地域住民に運営をまかせるのなら、自動化の仕組みは必要。
- ・近くに住んでいるので子どもの頃から鶴川図書館を使っているが、近頃では予約した本の受け取りしかしていない。
- ・図書館はあまり使ったことがない。本は買う派。
- ・認知症の人が働ける場があるとよいが、図書館の本の分類は難しいので、働きやすくしてほしい。
- ・小さい図書館は大きい図書館に蔵書ではかなわない。  
「いつも同じ本がある状態」でないようにすれば良い。

### <コミュニティ機能>

- ・人が集まる場として図書館が残ってくれるならば良い。
- ・地域のコミュニティスペースとして商店街と一体となって地域に必要な施設の一つ。単に利用者の減少を理由とせずなくさないでほしい。
- ・近隣の大学と連携できると活気がでるのではないかな。
- ・今の鶴川図書館は居心地が悪いのですぐ帰っている。  
もっと座るスペースがほしい。
- ・ニューヨーク図書館のように、司書がコンシェルジュのような役割を果たせると良い。
- ・再編によって子ども達の居場所になるとよい。

### <再編への思い>

- ・地域に新たな価値が生まれるなら再編を進めるのが良いと思う。
- ・親子3世代で通っているので何らかの形で残してほしい。
- ・鶴川図書館を新しくしても今以上の利用者は見込めない。  
鶴川図書館が地域に求められているのかなどを検討した方が良い。
- ・鶴川図書館はそのままの存続を望む。

## <課題解決策>

# 市民協働型運営の実現

## <なりたい姿>

- ・地域に欠くことのできない本と触れ合う場がある
- ・特に理由が無くとも気軽に訪れられる居場所
- ・地域のやってみたいことを実現(実験)できる

## <課題>

- ・地域に必要な図書機能への再編
- ・コミュニティ機能の継続と強化
- ・多様化する地域ニーズへの対応力強化

## <鶴川図書館の利用状況>

- ・2011年度にはさるびあ図書館に次いで3位だった貸出数は、2021年度は最下位。
- ・2021年度の来館者数は、鶴川図書館のみ大きく減少している。2022年度4～7月では最下位
- ・鶴川図書館は貸出中心の利用状況となっている。  
鶴川図書館では「貸出・返却」が81%、「学習・調べ物」は7%。  
鶴川駅前図書館では、「貸出・返却」が77%、「学習・調べ物」は17%  
全館平均では「貸出・返却」が79%、「学習・調べ物」は14%。

## 町田市の計画

### <効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン> 2020年2月

- ・鶴川団地センター街区建替え計画の進捗に応じて、再編を進める。
- ・建て替えが長期化する場合は代替機能の配置などを先行して実施。
- ・代替機能配置にあたっては、地域団体等による運営を支援する体制を検討。

### <町田市都市づくりのマスタープラン> 2022年3月

- ・鶴川団地を”暮らしのかなめ(今ある者を支え育む場)”として設定。
- ・団地センターを活用した地域の生活交流拠点の再生や、豊かなコミュニティのある団地づくりを主な取組として設定。

### <町田市地域ホットプラン> 2022年3月

- ・鶴川図書館の再編に関係する内容は以下の通りです。  
基本目標「今を生きる自分に合ったつながりをつくる」  
基本施策「地域への意識・関心が高まる」  
取組施策「コミュニケーションが生まれるきっかけづくり」

### <町田市鶴川団地と周辺地区再生方針> 2016年3月

- ・「多世代が一緒に住めるまち」をまちづくりの目標として設定。
- ・目標達成に向けたアクションとして取組を示しており、鶴川図書館の再編に関係する内容は以下のとおり。  
子どもが安心して過ごせる場づくり  
親が孤立せず子育てできる場づくり  
気軽に参加できる地域のコミュニティの場づくり